

次世代のがんプロフェッショナル養成プラン
阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン

がんリハビリテーション インテンシブコース

令和7年度

募集要項

申込期間

令和7年1月6日(月)～2月14日(金)必着

神戸大学大学院医学研究科

がんリハビリテーションインテンシブコース

<コース概要>

リハビリテーション専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)を対象に、がんの発症予防からがん治療前・中・後、緩和ケアまでシームレスにがん患者に対してリハビリテーション治療を実践するための知識・技能を習得し、実臨床において、エビデンスに基づいたリハビリテーション治療が実践でき、かつ現場スタッフに対して指導的な役割を担える人材を養成する。また、修士課程へ進学し、がんリハビリテーション治療のエビデンス構築のための臨床研究の実践を目指す。

「腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)」「腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)」およびがんリハビリテーションに関する講義を履修し、修了者には、がんリハビリテーション専門職研修(インテンシブコース)修了証を授与します。

① 研修の専門分野

がんのリハビリテーション(医学研究科リハビリテーション機能回復学、リハビリテーション部)

② 研修期間(合計時間)

令和7年4月入学(入学より1年間)

- ・「腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)」
- ・「腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)」: 計45時間
- ・がんリハビリテーション講義: 48時間
- ・実習16時間(2日間)(参加は任意)

③ 研修内容

[講義]

■「腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)」「腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)」

「腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)」

固形がんあるいは/および造血器腫瘍に対するがん個別化薬物治療を推進し、多領域や他部門、多職種と連携し新規治療薬や診断薬を開発するための個別化医療の臨床試験を立案・企画・遂行する方法を理解する。

「腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)」

臨床研究中核拠点病院やがんゲノム医療拠点病院と連携しがん個別化医療を推進し、地域でのがん個別化医療の実践を理解する。トランスレーショナル研究の推進を理解する。

受講方法: オンデマンドによる e-learning

■がんリハビリテーション講義

1. がんリハビリテーションについての総論、臓器別リハビリテーション各論、AYA 世代/高齢がん患者に対するリハビリテーションについて学習する。
2. 英文抄読、研究計画作成などを通して、がんリハビリテーションの臨床研究方法を学習する。

講義場所: オンライン講義(ZOOM)

開講時間: 19:00~22:00 (1ヵ月に1~2回程度)

がんリハビリテーション講義スケジュール

第1回 開催日：令和6年4月 開講場所：Web 開催	「がんリハビリテーション総論」 講師：リハビリテーション科 酒井 良忠 特命教授 オリエンテーション，大学院生研究計画・進捗状況発表
第2回 開催日：令和6年5月 開講場所：Web 開催	「リハビリテーション臨床研究法」 講師：保健学研究科 上田 雄也 助教 英文抄読，大学院生研究計画・進捗状況発表
第3回 開催日：令和6年6月 開講場所：Web 開催	「化学療法・造血幹細胞移植でのリハビリテーション」 講師：国際がん医療・研究センター 井上 順一朗 理学療法士 英文抄読，大学院生研究計画・進捗状況発表
第4回 開催日：令和6年7月上旬 開講場所：Web 開催	「消化器がんの周術期リハビリテーション」 講師：リハビリテーション部 牧浦 大祐 理学療法士 英文抄読，大学院生研究計画・進捗状況発表
第5回 開催日：令和6年7月下旬 開講場所：Web 開催	「肺がん：治療中から在宅におけるリハビリテーションの役割」 講師：徳島大学病院 リハビリテーション部 斎藤 貴 理学療法士 英文抄読，大学院生研究計画・進捗状況発表
第6回 開催日：令和6年8月上旬 開講場所：Web 開催	「小児科リハビリテーション（小児がん含む）」 講師：リハビリテーション科 原田 理沙 特命助教 英文抄読，大学院生研究計画・進捗状況発表
第7回 開催日：令和6年8月下旬 開講場所：Web 開催	「運動器リハビリテーション（がん口モ含む）」 講師：リハビリテーション科 吉川 遼 医師 英文抄読，大学院生研究計画・進捗状況発表
第8回 開催日：令和6年9月 開講場所：Web 開催	「悪性骨軟部腫瘍のリハビリテーション」 講師：大阪国際がんセンター リハビリテーション科 鈴木 昌幸 理学療法士 英文抄読，大学院生研究計画・進捗状況発表
第9回 開催日：令和6年10月 開講場所：Web 開催	「頭頸部がん患者に対するリハビリテーション：STの立場より」 講師：リハビリテーション部 高橋 美貴 言語聴覚士 英文抄読，大学院生研究計画・進捗状況発表
第10回 開催日：令和6年11月上旬 開講場所：Web 開催	「がんリハビリテーションのなかでの作業療法の役割」 講師：松下記念病院 リハビリテーション科 熊野 宏治 作業療法士 英文抄読，大学院生研究計画・進捗状況発表
第11回 開催日：令和7年11月下旬 開講場所：Web 開催	「リンパ浮腫のリハビリテーション～二次性リンパ浮腫と緩和期の対応について～」 講師：大阪急性期総合医療センター リハビリテーション科 島 雅晴 理学療法士 英文抄読，大学院生研究計画・進捗状況発表
第12回 開催日：令和6年12月 開講場所：Web 開催	「転移性骨腫瘍に対するリハビリテーション」 講師：リハビリテーション科 酒井 良忠 特命教授 英文抄読，大学院生研究計画・進捗状況発表
第13回 開催日：令和7年1月 開講場所：Web 開催	「脳血管疾患リハビリテーション（stroke oncology 含む）」 講師：リハビリテーション科 医師（未定） 英文抄読，大学院生研究計画・進捗状況発表
第14回 開催日：令和7年2月上旬	大学院生・インテンシブコース生 研究計画・進捗状況発表会

開講場所：Web 開催	
第 15 回 開催日：令和 7 年 2 月下旬 開講場所：Web 開催	「緩和医療におけるリハビリテーションの役割」 講師：国際がん医療・研究センター 井上 順一朗 理学療法士 英文抄読，大学院生研究計画・進捗状況発表
第 16 回 開催日：令和 7 年 3 月 開講場所：Web 開催	「高齢者のがん治療とリハビリテーション」 講師：リハビリテーション部 牧浦 大祐 理学療法士 英文抄読，大学院生研究計画・進捗状況発表

※講義内容、講師、スケジュールは状況により変更されることがあります。

[実習](参加は任意)

1. 神戸大学医学部附属病院リハビリテーション部および国際がん医療・研究センターリハビリテーション部門において、個々の患者に対するリハビリテーション計画法、評価法、治療法、リスク管理について学ぶ(主にごがん薬物療法・造血幹細胞移植、食道がん・頭頸部がんなどの周術期、緩和ケアチーム、摂食・嚥下におけるリハビリテーションの見学実習)。
2. 腫瘍・血液内科、食道胃腸外科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、緩和ケアチーム、転移性骨腫瘍ボードなど関連診療科のカンファレンスに参加し、治療方針の決定過程、チーム医療の実際を体験する。

(新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる場合もあります)

③ 成績評価

講義：講義への出席、英文抄読・研究計画の発表、研究計画書の提出により、臨床腫瘍学およびがんリハビリテーションの基礎知識の学習が十分であることを評価する。

実習：施設見学成果についてのレポートを提出する。

⑤ 受講料

無料。ただし、講義や実習の受講に係る大学や連携病院等までの交通費・宿泊費等は各自でご負担いただきます。

⑥ その他

受講期間中は指導教員の指示に従って実習等を行っていただきます。また、受講生の故意又は過失による事故については、本学は一切責任を負いません。

<募集案内>

① 募集人員

若干名

② 募集対象

AYA 世代/高齢がん患者をはじめ多様ながん患者に対するリハビリテーション診療に興味のあるリハビリテーション専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)

④ 申込期間

令和7年1月6日(月)～2月14日(金) **必着**

コース在籍期間は、1年間となります。

④ 提出書類

1. 研修願
 2. 履歴書
 3. 誓約書
 4. 勤務先の承諾書(被雇用者のみ)
 5. 志望理由書
 6. 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士免許証(写)A4サイズで提出すること
- ※履歴書・志望理由書に基づき選考を行います。選考後1ヵ月以内に合否を郵送にて通知致しません。

⑤ 郵送先

封筒おもてに「がんリハビリテーションインテンシブコース申込書在中」と明記して下記までご送付ください。

〒650-0017 兵庫県神戸市中央区楠町7-5-1
神戸大学大学院医学研究科内科学講座 腫瘍・血液内科学

◎問い合わせ先

神戸大学医学部がんプロ事務局 担当:中邊 E-mail: ganpro-kobe@med.kobe-u.ac.jp

※受講を希望される方は事前に担当へご連絡をお願いいたします。